

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分  
 【発行日】平成24年9月6日 (2012.9.6)

【公開番号】特開2012-81375(P2012-81375A)  
 【公開日】平成24年4月26日 (2012.4.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-017  
 【出願番号】特願2010-227204(P2010-227204)  
 【国際特許分類】

**B 0 1 D 71/02 (2006.01)**

**B 0 1 D 69/08 (2006.01)**

**C 0 1 B 31/02 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 71/02

B 0 1 D 69/08

C 0 1 B 31/02 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月24日 (2012.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、中空系炭素膜の製造方法に関する。さらに詳しくは、成形性にすぐれた中空系炭素膜を大量かつ迅速に得ることを可能とする中空系炭素膜の製造方法に関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の目的は、成形性にすぐれた中空系炭素膜を大量かつ迅速に得ることを可能とする中空系炭素膜の製造方法を提供することにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明の中空系炭素膜の製造方法においては、湿式または乾湿式紡糸工程、乾燥工程および炭化处理工程を基本工程とする中空系炭素膜の製造方法において、紡糸原液と芯液を用いて紡糸して得られた中空系状物をボビンに巻き取った後、中空系状物を水槽中に設置した状態でボビンの両端部間をつなぐ線に沿って、好ましくはボビンの軸方向中心線とほぼ平行な方向に切断し、これを水中に保管した後、その両端を解放した状態で重力方向への吊り下げを行って中空系状物について芯液および水の除去を行い、さらに1本毎に上端部を解放した状態で中空系状物下端へのおもりの吊り下げを行って中空系状物のポリマー部分の乾燥を行うといった工程が行われる。